令和７年度　丹波市立竹山小学校　学校経営方針（案）　　令和７年４月１日

学校教育目標

ふるさと竹山で、子どもたちが人とかかわりながら、じりつ（自律・自立）する学校

～失敗 OK の学校から社会や未来を切り拓く子どもたちが育っていく～

めざす子どもの姿
◆自分のよさに気づき、自分も相手も大切にできる子（自立）
◆人とかかわりながら、自分（たち）で自分（たち）の学びを深める子（自律）
◆ふるさと竹山の「ひと・もの・こと」や身近な疑問や課題から学べる子

めざす子どもの姿を実現するための方策

■誰一人取り残さないプロジェクト　⇔　自分のよさに気づき、自分も相手も大切にできる子

（１）違いや多様性を認め合える学級経営・学団連携
（２）特別な支援を必要とする児童への対応力の向上
（３）教育相談体制の充実、関係機関との連携（SC・教育支援センター等）
（４）自己肯定感の高揚、自分のよさ・友だちのよさに気づく取組
（５）年間を通じた縦割り遊び・縦割り掃除。子どもたちとともに創る児童会・学級会活動
（６）子ども園との接続・連携、小・中連携での取組
（アプカリ・スタカリ、５歳児５年生連携、トライやるウィークや出前授業・人権交流会によるキャリア形成）

■学びを変えるプロジェクト　⇔　人とかかわりながら、自分（たち）で自分（たち）の学びを深める子

（１）朝遊びとリズムジャンプトレーニングによる心の安定や運動能力の向上・脳の活性化
（２）主体的・対話的で深い学びのある授業の創造（協働×個別×ICT）《昨年度から１つに集約》
（３）自ら学ぶ力を育む学習の取組
（子どもに委ねる教師の意識改革、児童進行型授業、複数教科・複数単元での自由進度学習）
（４）PJ２・３に取り組むことで７つの自己調整力と粘り強さなどの育成を図る支援の在り方の研究

■地域・家庭と一緒にプロジェクト　⇔　ふるさと竹山の「ひと・もの・こと」や身近な疑問や課題から学べる子

（１）地域・家庭とめざす子ども像を共有し全員が当事者となる取組
（２）基本的な生活習慣の定着に向け家庭と連携した取組
（３）CS を活用した両地域の教育資源（ひと・もの・こと）の効果的な活用と学校参画の推進
（４）竹山学（生活科・総合的な学習の時間）を核とした地域と連携した学習
（５）HP や学校だより、通信等による積極的な情報発信
（６）学校行事、オープンスクール、授業参観などの積極的な公開

めざす教職員の姿
◆子どもに寄り添い、子どもの可能性をみいだす教職員
◆心身ともに健康で、協働して新たなことへの挑戦や学校づくりを楽しめる教職員
◆家庭・地域をパートナーと認識し、児童の成長に向け主体的・組織的に取り組む教職員

保護者の役割（令和６年度７月の懇談会より）
◆保護者同士や先生方と仲よくつながる
◆子どもたちの個性を尊重し、多様な考え方を認め合える
◆子どもの声を聞く・聴く。子どもの変化に気づける
◆親がよいお手本になる

地域の役割（令和６年度学校運営協議会より）
◆地域のよさや伝統を子どもたちに伝えたい
◆見守りだけでなく子どもたちや先生方を支援したい
◆子どもたちが地域の方々とつながる企画を考えたい
◆地域が好きという子どもを育てたい